

校長あいさつ

池田小学校長 鶴田 千尋

「Society5.0時代を生き抜く児童を育てる池田小学校」 ～学習の個別最適化・多様な協働学習の推進～

令和6年度になりました。3年目となります。引き続きよろしくお願いいたします。学校のシンボルであるやまざくらも花を咲かせました。昨年よりも多く、以前に近づいたようにたくさんの花は、「げん気」な池田っ子をあらわしているようです。やまざくらともども活気に満ち溢れた一年になることを予感させられます。

さて、いわゆるコロナ禍も、昨年5月8日以降感染症法上の位置づけの変更により制限の緩和、撤廃をうけ大きく変化しております。学校教育も以前までの活動が戻りつつあります。しかしながら、すべてがコロナ前に戻るのではなく、コロナ禍を経て、ニューノーマルな視点での再出発という点も必要であろうかと考えます。国のGIGAスクール構想のもと導入された可動式コンピュータは、授業の中でも定着し、ロイロノートやキュビナといった学習アプリの活用と相まって、学習に不可欠なツールになりました。それらを使うことで、今後到来するであろうICTやIoTと呼ばれるAIを活用した新しい社会、Society5.0時代の中心となって活躍できる能力の一端を学ぶことができきております。

今年度は、これらの能力の育成を一層進めていくことを柱の1つととらえております。と同時に、本来の目的である、基礎的・基本的な学力をしっかりと定着させていくことが重要です。つまり、一人一人にあった個別最適化された学習、子供たちに「何が分かったのか、できるようになったのか」をしっかりと射程に捉えた指導を進めてまいります。そのためのICT機器の活用や絶え間ない授業改善が不可欠と考えております。アクティブ・ラーニングをとおして、一人一人がしっかりと考えられる授業、協働して学ぶ授業の創造を行ってまいります。指導に当たる教師一人一人の指導力が備わっていることも、前提条件であると考えます。教師には、絶え間なく研修に取り組むことが必要とされております。時機をとらえた、絶え間ない自己研鑽や校内研修をしっかりと行ってまいります。

しかしながら、子供たちの教育は学校だけで完結するものではありません。家庭や地域、その他の外部関係諸機関等の教育力を取り込みながら行っていくことが重要です。目的を共有し、連絡を密にし、信頼関係を築きながら協力できたらと考えておりますので、引き続きの御理解御協力をお願いいたします。

新年度、新たな気持ちをもって、学校の伝統・誇り等を継承しつつ、時代の変化に対応した学校、地域に誇れる学校を目指したいと存じます。